

プレスリリース (2016年12月15日)

緊急パネル討論会『豊洲市場移転に関わる食のリスクコミュニケーション』

NPO 食品保健科学情報交流協議会(NPO 食科協)

NPO 食の安全と安心を科学する会(SFSS)

【開催日】2016年12月20日(火) 9:30~12:30

【開催場所】東京大学農学部フードサイエンス棟中島董一郎記念ホール

東京都文京区弥生1-1-1(東京メトロ南北線東大前駅から徒歩5分)

【共催】NPO 食品保健科学情報交流協議会(NPO 食科協)、NPO 食の安全と安心を科学する会(SFSS)

【対象】東京都民/一般消費者、市民団体、マスメディア、行政関係者、食品事業者、リスク研究者ほか

【参加費】1名3,000円(当日会場にて現金で) *NPO 食科協・SFSS 会員・報道関係者は参加費無料

【参加申込み】参加申込みはWEBで ⇒ http://www.nposfss.com/form_toyosu1220.html 【定員】: 90名

または、SFSS事務局までメールで申込み⇒ nposfss@gmail.com

件名に「12/20 申込み」メール本文に「氏名」・「所属名/役職名(NPO 食科協/SFSS 会員はその旨も)」・

「連絡先(電話番号)」をご記載ください。

【本フォーラムの主旨、開催概要】

東京都卸売市場移転問題は小池知事就任以来、公約の目玉のひとつとして都民の大きな関心事となりメディアで連日報道が続いている。本件は、都民の毎日の食と台所に深く関わり時間的に悠長な検討を重ねることは許されない。現時点では、水産食品と生鮮野菜の適正流通と安全を担う現築地市場及び移転先関係者が、今回の問題発生で直接に大きな被害を被っており、これら関係者の意欲と責任感を喪失させるような施策は歓迎できない。適切なリスクコミュニケーションを通していち早く問題解決の方向を示すことで都民の安心と納得を得られると考える。われわれは、これまで食の安全と安心に関して消費者、事業者、行政、専門家と協力してリスクコミュニケーションを進めてきたことから、東京都卸売市場移転問題について適切な食のリスクコミュニケーションを促進する一つの機会として本討論会を実施する。

【プログラム】(敬称略)9:30~12:30(最大延長 13:00 まで)

1. 関澤 純(NPO 食科協) 9:30~10:00
「豊洲市場移転に関わる食の安全と健康影響について」
2. 高橋 真理子(朝日新聞) 10:00~10:20
「メディアからみた豊洲市場の食の安全」
3. 小暮 実(NPO 食科協) 10:20~10:40
「東京卸売市場の食品衛生環境があるべき姿について」
4. 山崎 毅(SFSS) 10:40~11:00
「都民にとって“やさしい”食のリスクとは」
5. 意見交換/パネル討論会 11:10~12:30(最大延長 13:00 まで)
上記パネリスト+進行(SFSS 山崎)

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会(SFSS) <http://nposfss.com/>

本部事務局: 〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部フードサイエンス棟 405-1 号室

電話/FAX: 03-6886-4894 代表メールアドレス: nposfss@gmail.com

◆お急ぎのご質問は、理事長山崎の携帯へ: 090-3527-0273